

貸出金の状況

貸出金残高

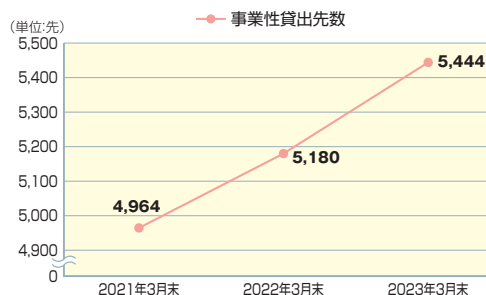
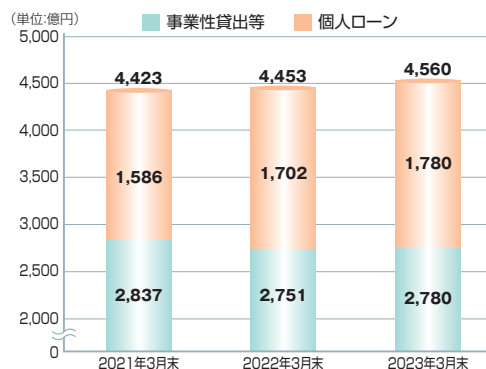
4,560億円

貸出金は、個人のお客様向け住宅融資が堅調であったことから、期末残高は前期比2.39%増加の4,560億円と10期連続で増加しました。

事業性貸出先数

5,444先

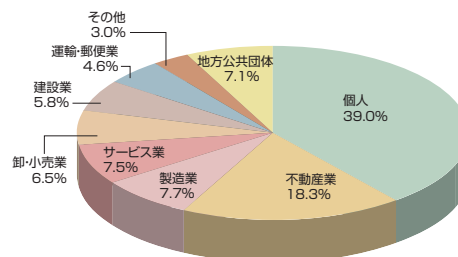
事業性の貸出先数は、ビジネス情報の提供や本業支援に積極的に取組むなど、経営上の課題解決に繋がる活動を通して新規のお客様との接点を強化した結果、年間264先増加の5,444先となりました。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の92.8%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。

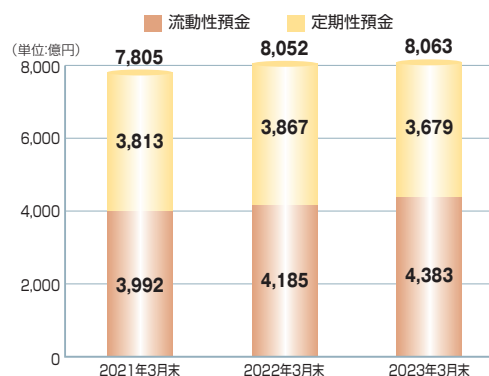


預金積金の状況

預金積金残高

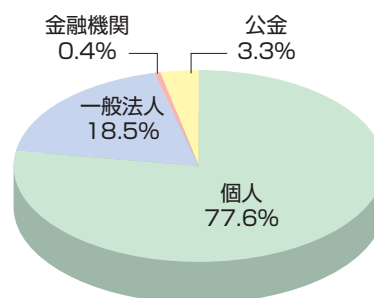
8,063億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替など、基盤取引の推進に取組むとともに、非対面チャネルの拡充に努めた結果、期末残高は前期比0.12%増加の8,063億円と6期連続で増加しました。



預金者別預金残高構成比

地域のお客様からの信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は77.6%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。

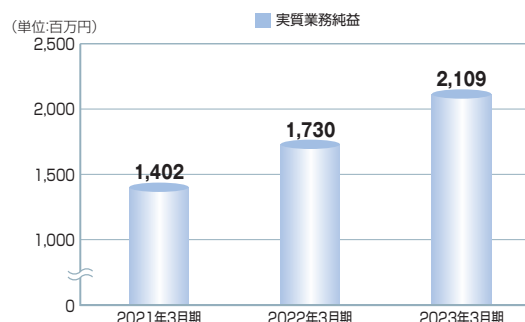


損益の状況

実質業務純益

21 億円

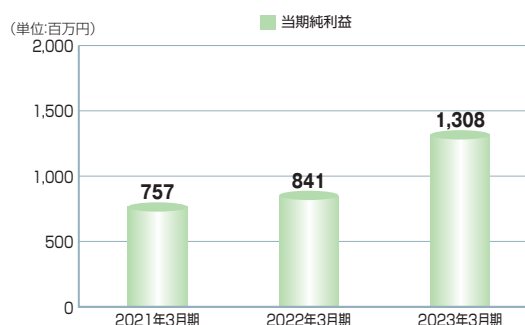
本業の利益を示す実質業務純益は、有価証券利息配当金の増加や経費の減少等により、前期比21.89%増加の21億9百万円となりました。



当期純利益

13 億円

当期純利益は、前期比55.46%増加の13億8百万円となりました。

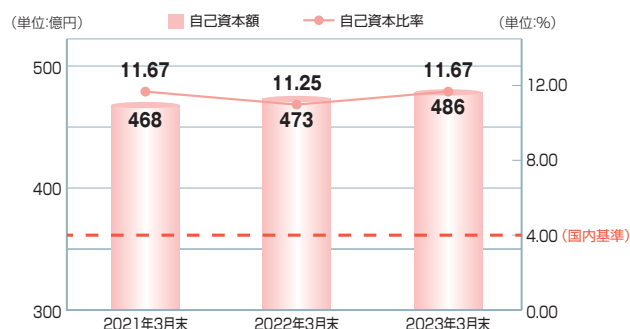


自己資本の状況

自己資本比率

11.67% 486 億円

自己資本額は前期比2.58%増加の486億円となりました。自己資本比率は自己資本額が増加したことに加え、リスク・アセット等が前期比1.08%低下したことにより、前期比0.42ポイント上昇し11.67%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準4%（規制値）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

不良債権比率

4.19% 191 億円

事業再生先への支援に取り組んできた結果、不良債権額は前期比3億円減少の191億円となりました。不良債権比率は前期比0.17ポイント低下の4.19%となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

